



教員が研究の楽しさを語る

第306回(6/17)高艸 賢先生 推薦 ブックガイド



※掲載されている本はN棟3階 あかりんアワーのコーナーに配架されます。

Book1

生活世界の構造 (ちくま学芸文庫, [シ36-1])

著者：アルフレッド・シュツツ, トマス・ルックマン著

出版：筑摩書房, 2015.11

コメント：シュツツが生前残した遺稿をルックマンが書き継いで完成させた本です。シュツツ現象学の集大成であり、ドイツ語圏の社会学では古典として広く読まれています。

[この本を読む→https://opac.ll.chiba-u.jp/opac/opac_link/bibid/FB10071699](https://opac.ll.chiba-u.jp/opac/opac_link/bibid/FB10071699)

Book2

現実の社会的構成：知識社会学論考

著者：ピーター・バーガー, トマス・ルックマン著；山口節郎訳

出版：新曜社, 2003.2

コメント：シュツツ現象学を基礎として体系的な社会学理論を展開した本です。世界で最も多く引用されている社会学の理論書のひとつです。

[この本を読む→https://opac.ll.chiba-u.jp/opac/opac_link/bibid/FB00200939](https://opac.ll.chiba-u.jp/opac/opac_link/bibid/FB00200939)

Book3

Social constructivism as paradigm? : the legacy of the Social construction of reality

(Knowledge, communication and society / series editors, Bernt Schnettler ... [et al.])

著者：edited by Michaela Pfadenhauer and Hubert Knoblauch

出版：Routledge, 2020, c2019

コメント：『現実の社会的構成』の刊行50年を記念して編まれた論文集です。現代の社会学者たちが『現実の社会的構成』を踏まえてどのように研究を展開しているかがわかります。

[この本を読む→https://opac.ll.chiba-u.jp/opac/opac_link/bibid/EB00697894](https://opac.ll.chiba-u.jp/opac/opac_link/bibid/EB00697894)

